



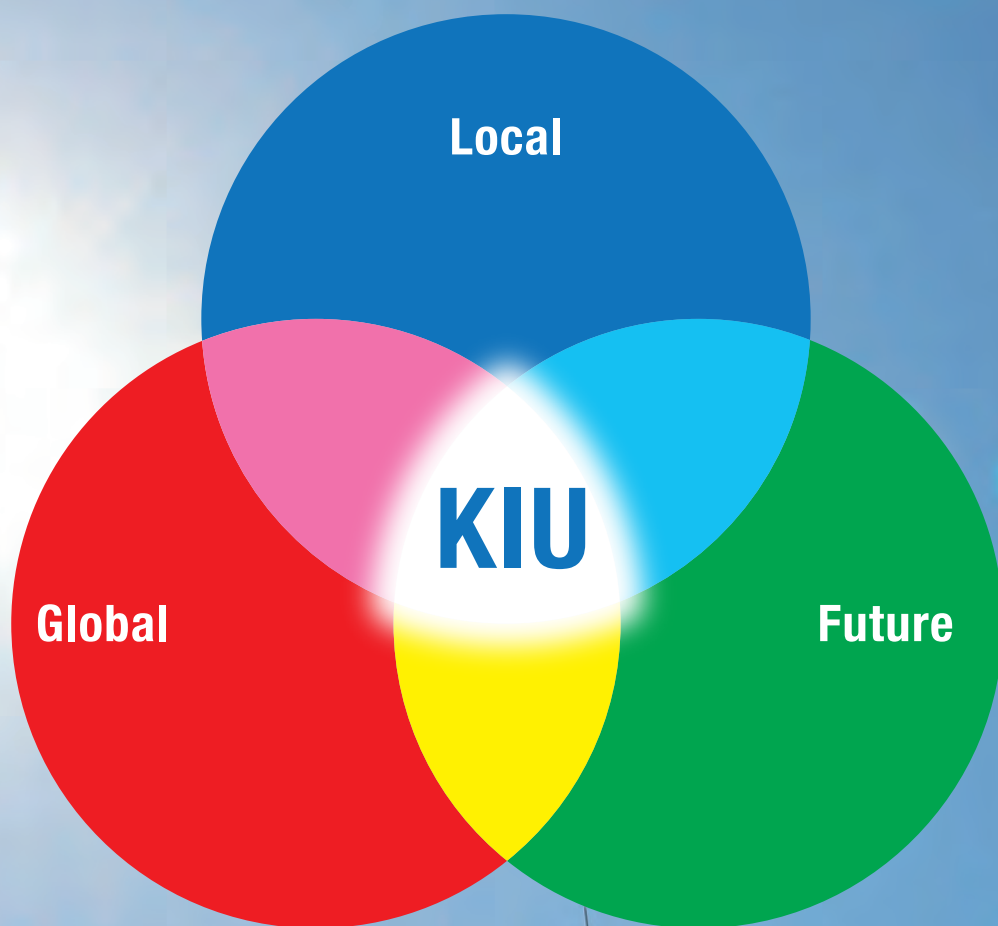
九国 の 扉

キュウトビ

vol.16

2018

学校法人九州国際大学
学園広報誌



特集：次代の人材を育てるための3つのビジョン

DREAM100 第9回高校生作文コンテスト 受賞者発表

- ◎キャンパスレポート ◎アスリートたちの夏 ◎人生の扉 第7話：不実な美女か 貞淑な醜女か
◎学校法人九州国際大学 平成29年度決算報告

地域を見据え、 世界を俯瞰し、 未来を予見する。

3つの九国ビジョンがめざす、次代の人材育成。

「九国」の創起は1930年、

この地に集う勤労青年のための学び舎「九州法学校」として誕生しました。

そのルーツが物語るように、地域とつながり、

地域の発展を担う人材を育てることは建学からの使命であり、責務でもあります。

しかし、時代はめまぐるしく変わり続けています。

あらゆる分野でグローバル化が進む今、

広い視野で世界を見渡し、多様な人々と共生していく力は不可欠。

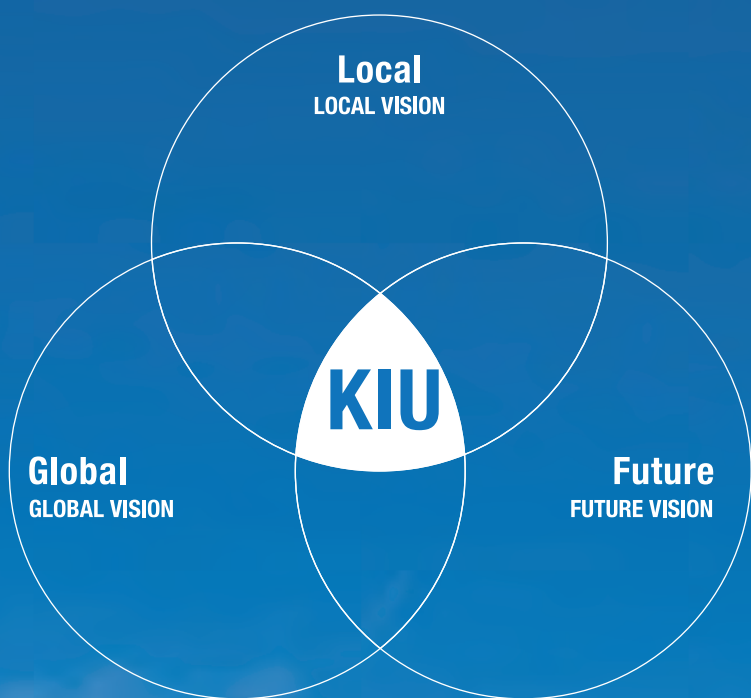
さらに、ITや人工知能の発達にともない、生き方も働き方も

大きく様変わりしていくことが予想されるこれからの社会、来るべき未来を予見し、

そのために必要な力を育てていくことも、本学に課せられた新たな使命と考えています。

地域を見据え、世界を俯瞰し、未来を予見する。





「九国」では、3つの教育ビジョンのもと、

全学を挙げて、次代の人材育成を進めています。

ここで学ぶすべての若者たちに、

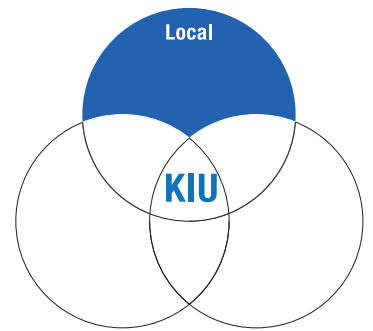
未来を切り拓き、生き抜いていく力を身につけさせるために。

時代に流されるのではなく、次代の潮流をつくり出せる人材を育成するために。

「九国」はつねに前を向き、教育者として、支援者として、

一人ひとりに寄り添う伴走者として、ともに走り続けます。





九国の地域連携

継続は力なり。

年々バージョンアップしながら、

地域に根ざした視点から

さまざまな地域連携活動を行っています。



今年で9年目。

活動の幅もよりワイドに

地域安全マップ活動

法学部リスクマネジメントコースの姜ゼミが取り組んでいる地域安全マップ活動は、子どもたちに安全な場所と危険な場所を見分ける能力を身につけさせ、犯罪に遭わないようにするための防犯活動です。今年で9年目を迎える息の長い活動は各方面から高く評価され、今や北九州市はもとより福岡市にまで広がっています。活動は、子どもたちにわかりやすい防犯学習を行うための事前学習、フィールドワーク、マップづくり、発表にいたるまですべて学生主導で行うのが特長。さらに、小学校の児童や先生、警察や地域の市民ボランティアと一緒に取り組むことで、地域に貢献しながら課題解決力やコミュニケーション力を育む機会にもなっています。2018年度は北九州市内で4カ所、福岡市内で2カ所の小学校で実施する予定です。

学んだ防災・防犯知識を地域で活かすために

リスクマネジメント実習



学生防犯ボランティア連絡会議



子どもたちだけでなく地域ぐるみで防犯意識を高めてもらうために、2017年度は黒崎商店街で救命救急や防犯の知識をわかりやすく紹介する教育イベントを計画、実施しました。学生たちにとって地域課題を考える格好の場となり、商店街の集客強化にもひと役。今年度は北九州市主催の「黒崎子ども商店街」のイベントブースで防災クイズ、救命講習、地域安全マップ活動紹介などを行う予定です。

毎年5月に北九州市が主催する「学生防犯ボランティア連絡会議」や「防犯アカデミー」が行われ、九州地域で防犯ボランティアを行っている学生が一堂に集まり、防犯教育を受けています。九国大が継続してきた防犯への取り組みを各地で活用してもらえよう、「地域安全マップ活動」についての情報共有も行っています。今年は北九州市立大学で行われ、法学部の3・4年生が参加しました。

LOCAL VISION





経済学部地域づくりコース

八幡の記憶を後世に。

小冊子「鐵の魂」を作成

経済学部の地域づくりコースでは、1960～70年代に八幡製鐵所から君津製鐵所（千葉県）に転勤した元製鐵マンたちから当時の思い出などを聞き取り、小冊子「鐵の魂」を作成しました。JR八幡駅前のまちづくりに取り組む「さわらび国際通りまちづくり期成会」と協力して、学生26人が八幡と君津で製鐵所OBや地域住民20人に取材。約1年がかりで「八幡編」と「君津編」の全22ページにまとめました。「君津編」では八幡の起業祭をモチーフに君津で新たな祭りを企画したOBの話などを紹介。「八幡編」では商店街に毎日、まっすぐ歩けない位の人だからができるほど栄えていた八幡のエピソードを盛り込みました。今年の3月、制作に関わったメンバーの代表らが市長を訪問。市長に完成した「鐵の魂」を贈呈し、小冊子に込められた思いを伝えました。



九州国際大学BBS会は、**地域の子どもたちの自立を支援しています。**

九州国際大学BBS会

九州国際大学BBS会は、非行少年の立ち直りや非行防止活動などに取り組む更生保護ボランティアの学域団体で、法学部の松本ゼミが中心となって活動に取り組んでいます。地域の「八幡保護司会」「八幡更生保護女性会」をはじめ福岡保護観察所や市民センターなどとも連携しながら、「子ども見守り活動」や「ともだち活動」などを通して子どもたちの自立を支援しています。活動の一例ですが、地域の方々や子どもたちと一緒に芋の畑地作りから苗植えまでの活動や、地元の河川敷で子どもたちがカヌー体験を安全にできるよう支援する活動などがあります。また、『ダメ。ゼッタイ。』普及運動という薬物乱用防止キャンペーンに、地域の他団体と共同で啓発活動へ積極的に加わってきました。2017年には福岡保護観察所長感謝状を、2018年には特定非営利法人日本BBS連盟より表彰状を授与されています。今年度は地域の児童養護施設などを訪問し、多くの子どもたちと触れ合う機会をつくっていく予定です。



Junior High School

北九州市の「今」を知り、
職業への関心を深める
市役所訪問



2017年11月8日、付属中学の2年生は市役所訪問を行いました。これは、市役所を訪問し、インタビューすることを通じて、職業についての興味関心を高め、現在の北九州市についても理解を深めるための体験学習のひとつです。グループに分かれて調査・計画を行い、公共交通機関を利用して行動することによって自主性や協調性、公共心を養うとともに、公共の場にふさわしい言葉遣いや態度、身だしなみを身につけさせるのも目的です。当日は、どの部署でも資料などを使って熱心に説明してくださり、インタビューに対してわかりやすく対応していただきました。生徒も積極的に質問を投げかけ、熱心にメモをとるなど、充実した1日になりました。生徒たちはその後、学んだことをレポートにして各部署へのお礼状とともに送り、感謝の気持ちを伝えました。

九国大からインドネシアへ



卒業生
メッセージ
勤務先/(株)西原商事

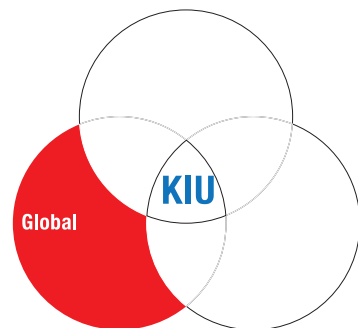
成田(旧姓 武久) 詩歩さん
国際関係学部
国際関係学科(2013年卒業)
福岡県ひびき高等学校出身

University

九国大から世界へ、世界から九国大へ 国際大学ならではの交流プログラム

大学時代の異文化体験は大きな成長の糧に。韓国をはじめ、中国やインドネシアへの交換留学、アメリカの認定留学制度、カナダへの短期留学など、さまざまなプログラムを用意しています。観光ホスピタリティを学んだり、現地の人たちと仕事に取り組んだりする

コースや、国際協力の現場が視察できるユニークな海外体験もあります。留学経験者の中には、卒業後、海外でバリバリ仕事をこなし、活躍している人も。また、海外からの留学生も多く、日本人学生との交流の場も多彩。キャンパス内でも国際交流の輪が広がっています。



九国の国際交流

世界とつながり、理解することによって、見えてくる未来がある。

「国際大学」の名にふさわしい、グローバルな人材を育成します。

ベトナムから九国大へ



留学生
メッセージ

グエン・ミン・ヒュンさん
経済学部 経営学科 4年生
ベトナム
CAOBACQUAT高等学校出身

GLOBAL VISION

Junior High school

3ステップ学習プログラム

基礎から応用、さらに実践力を身につける海外体験へ。段階的なプログラムで英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)をバランスよく養っていきます。英語で自己表現を行うEPC(English Presentation Contest)などにより英語への関心を育て、国際社会に生きるためのスキルを磨くとともに、来るべき高校入試・大学入試に有効な学力を培います。

3年

実践力を磨く

1・2年で学んだことを実践するために、オーストラリアでの海外体験教室へ。空港やホテル、ホームステイ先など場面に応じた会話力を伸ばすとともにオーストラリアの歴史や文化を学ぶことで、異文化を理解し、尊重する姿勢を養います。

2年

応用力を養う

場面に応じた会話表現を学びます。また、グループでのやり取りを通じて、自分が話したいことをさらに深く表現する力を高めます。EPCはスクイットに挑戦。身振り手振りを加えた、より積極的な英語でのコミュニケーションをめざします。

1年

基礎力を培う

語彙や表現の基礎、英語の発音やリズムなどを学び、英会話に必要な基礎力を育てます。EPCでは物語を暗唱し、コンテストで発表。英語で表現することの楽しさと、人前で話す緊張を乗り越え、英語を話す達成感を体験します。

国際社会に生きるための英語力を獲得!





西日本では稀少！ インドネシア語が学べる大学

九国大では発展著しいアジア圏の語学教育にも力を注いでいます。とくに西日本では数少ないインドネシア語を学べる大学として知られています。これからの国際情勢を考えるとアジアの言語の習得は就職にも有利です。留学制度も充実しています。

1年次でタイの貧困層の子どもたちへの教育支援を行うNGO「くるんてくぶの会」のスタディツアーに参加しました。その後、もっと見識を深めたくて、交換留学でインドネシアへ。卒業後は、JICAと北九州市の支援を受け、インドネシアでのゴミ再生プロジェクトに着手したばかりの(株)西原商事に就職しました。新人社員にもかかわらず、スラバヤで現場責任者の仕事に取り組むことができたのは、上司や同僚、国や北九州市の職員、ボランティアの方々など多くの人の支えがあったから。さらに、現地で出産まで経験した私にとってインドネシアは第2の故郷といえるほど愛着のある国になりました。これからも仕事を通して、この国の発展に貢献していきたい。九国大での海外体験・留学が、想像以上の未来をひらいてくれました。

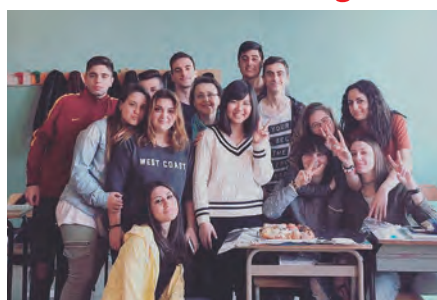


目標はN1レベルの 日本語運用能力の取得！

留学生に対しては、卒業までに日本語能力試験のN1に相当する日本語運用能力を身につけさせることを目標としています。難易度の高い試験ですが、合格すると企業での優遇、社会的な資格認定などの優遇措置が受けられるというメリットがあります。

兄の勧めもあり、日本語学校を経て九国大に入學しました。最初は授業についていけないか不安でしたが、疑問点があれば先生が丁寧に教えてくださったおかげで、授業の日本語はほとんど理解できるようになりました。学内には日本人学生や地域の方々の交流の機会もたくさんあり、なかでも興味深かったのが、地域の子どもたちへのボランティア活動として取り組んだ「朗読会」です。日本語、ベトナム語、中国語で詩を朗読していくセッションは、言葉の意味はわからなくても、それぞれの言葉が持つ響きやリズムが心地よく、とても印象的でした。日本の人材派遣会社から内定をいただき、来春からはいよいよ社会人。将来は、兄と一緒にベトナムと日本をつなぐ人材派遣会社を起業するのが僕の夢です。

High School



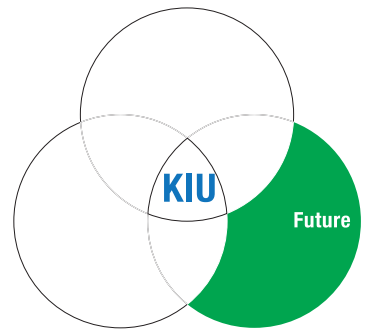
1年間、留学しても3年間で卒業できる！

今年、イタリア留学から帰国した江藤友理さんを紹介します。

付属高校には1年間の長期留学制度があります。今回、紹介するのはイタリアに留学していた江藤友理さん(香春中出身)です。彼女は南部のアヴェリーノという町でイタリア語を勉強して、今年、付属高校の3年生として戻ってきました。

イタリアを留学先に決めたのは、まず、「観光学」が盛んであったこと。次に、「第3言語」としてイタリア語を習得しておけば、自分だけの強みを持つと考えたからとか。留学前にイタリア語の勉強はしたそうですが、実際にネイティブと会話をするのは難しく、やはり現地に行って苦労しながら学んだことが多かったそうです。

「留学してよかったことは、イタリアの人が自国の文化や伝統に誇りを持っていて、それを守っているように強く思っていること。また、離れてみたからこそ日本のよさにも気づくことができました。そして、何より、考え方がポジティブになり、人との関わりを大切にできるようになりました」と、どんな質問にも笑顔で答えてくれた江藤さん。今後の成長も、とっても楽しみな生徒です。



九国の教育改革

先進の学習サポートと丁寧な指導。

夢を叶え、未来を拓くために、

本気で鍛えるのが「九国」です。

福岡ロボットアイデアソンに 「九国大」チームがエントリー

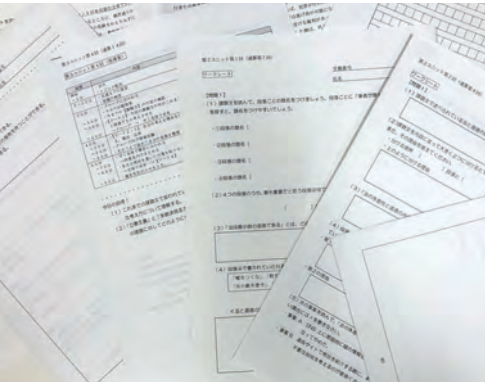
ロボットアイデアソン「ぼくらの未来創世物語」(平成30年1月12日(金)～13日(土))に課題解決型の授業、プラン&プラクティス(P&P)の受講生、1年生5人が参加しました。このイベントは「企業の課題をロボットで解決すること」をテーマに、チームでアイデアを考案し、選考に臨むというものです。イベントでは、参加企業の下調べをするところから始まり、アイデアを解りやすく伝えるためのポスターを作成したり、プレゼンの内容を考えたりと、講義で学んだことを実践するよい機会となりました。



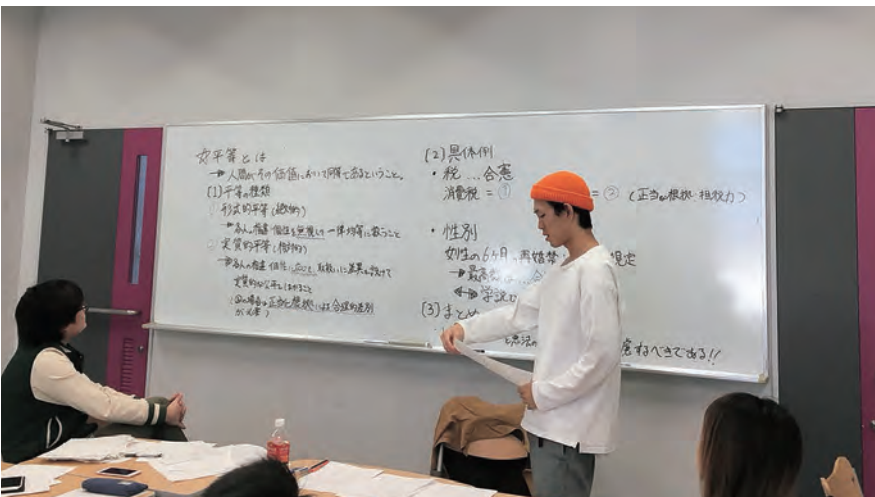
法学の観点から社会問題を捉える力を伸ばす 法学基礎セミナー

法学基礎セミナーは、法学部2年次の必修科目です。少人数のゼミ形式で行われ、法学の観点から社会問題を捉える力を伸ばすことを目的としています。

本科目は、法学部の担当教員が協同して作成した共通教材を用いて実施されます。各ゼミでは、法や政治に関する文献(法と道徳、立憲主義と民主主義、法の下での平等、地方自治体の仕事、国民の司法参加など)を(1)読解し、(2)論点を整理(レジュメを作成する)し、(3)ディスカッションを行い、(4)最後にレポートにまとめるまでを1つのユニットとし、これを3週間から4週間かけて行います。ユニットは全部で6つあり、学生は、1年間かけてこれらに取り組んでいきます。こう



した一連のサイクルを積み重ねていくことで、課題を発見する力や解決する力が育まれます。それによって、3年次から始まるより専門的な法学の研究に臨むことができるようになるのです。



FUTURE VISION





福岡ロボットアイデアソン

ロボットを活用し、福岡の未来創造の道を探るための解決策を競う「ロボットアイデアソン」。福岡銀行、西日本鉄道、福岡放送という福岡の大手3社がテーマを出題し、23チーム112名の学生が参加。ゲストや審査員を含めると総動員数は180名を超えるイベントとなり、熱のこもったディスカッションが繰り広げられました。

High School

プレゼンテーション力もアップ
ICTを活用したアクティブな英語授業
外国語教育改革



付属高校では、英語の授業で生徒たちは、プレゼンの準備として動画を活用して効果的なプレゼン方法を学び、iPadを利用して日本人は考えないような発想を得ていきます。そのようにして自分たちの手で完成させたプレゼンは個性豊かで、人の心を動かします。

このように、次期学習指導要領の改訂と高大接続改革に鑑み、ICT教育環境の整備を急ピッチで進めています。平成29年には電子黒板やiPadを完備したICTルームを設備し、協働学習や調べ学習など、各教科の授業で展開される「主体的で対話的な深い学び」の質を高めるとともに、教科の枠組みを超えた横断的な学習にも対応できるようにしています。今後は、全教室にプロジェクト・無線APの設置、全生徒のタブレット・学習支援システムの導入を目指し、生徒に充実した教育サービスを提供していきます。

Junior High School

中学から大学入試は始まっている
先進的な独自の受験指導

2020年度から始まる新しい大学入試を視野に、昨年から長期休暇中の課外授業を「夏季授業」「冬季授業」とし、年間20日以上も日数を増加しています。定期考査では論述型のテストを取り入れ、3年生の2学期からは教科ごとに特別なクラスを編成した「特編授業」を実施するなど、徹底した受験指導を行っています。また、ICTタブレットや電子黒板プロジェクトの導入、登下校時の荷物の軽減を図るなど学習環境の効率化も進めています。

「知」とともに「生きる力」を育む
こころcolorの体験学習

知・徳・体の調和のとれた生徒を育成するために、「心から(こころcolor)」「自分の色」で取り組む「こころcolor」の体験学習を行っています。郷土の歴史に触れ、心身を鍛える「北九ウォーク」、命の尊さを学び合う「AED講習会」、友との絆を深める「宿泊研修」、自分の可能性を考える「キャリアガイダンス」など、独自の体験学習に取り組みことで、優しさとたくましさ、思いやりにあふれた「生きる力」を育んでいきます。



九州国際大学 Dream100

2018 作文コンテスト 第9回

夢の数だけ、物語がある。

九州・山口の高校生を対象に100文字以内で思いをつづってもらう恒例の作文コンテスト。

今年のテーマは、ズバリ「あなたの夢」。

人生100年といわれる世の中であって、高校生が思い描く未来への夢とは？

60校から6,757もの力作が集まり、厳正なる審査の結果、4賞と入選96点が選ばれました。

DREAM100 第9回高校生作文コンテスト



本学の開学100周年に向けて、たゆまず歩み続けようという決意と、高校生の夢が「満点」になるようにという願いを込めてスタートした「Dream100」高校生作文コンテスト。

今年で9回目を数え、九州・山口では夏休み前の課題として、すっかりおなじみとなっている高校も少なくないようです。100文字という限られた枠の中で思いを伝えることは、一筋縄にはいきません。しかし、自分とじっくり向き合うよい機会となり、将来の夢や目標を明確にすることにも役立ちます。今年のテーマは、コンテストの名称にもなっている「あなたの夢」。前年を上回る60もの高校から、若者らしい熱量にあふれた、キラキラと輝くたくさんの夢が集まりました。受賞作はいずれも自己を内省し、表現に工夫を凝らしながら無駄を削り、推敲に推敲を重ねたことがうかがえる力作揃い。

8月18日(土)学内で行われた表彰式で、受賞者4人に喜びの声を聞きました。

個性的で大きな夢を

今年のテーマは「あなたの夢」でした。自分の将来について真剣に向き合い、家族に感謝し、友人を思いやる若者の姿が6,000を超える応募作から浮かんでくるようでした。賞に選ばれた作品はどれも、その人にしか書けないことを正確な文章で表現しています。純粋で強い気持ちが伝わってきます。高校生らしい切実な訴えに心を揺さぶられました。

100文字という短い文章で思いを伝えることは簡単ではありません。短いからこそ全体を構成する力が問われます。大賞に輝いた山口南総合支援学校高等

部1年の内田峻介さんは、パラリンピックに出場するという明確な目標を力強く書ききりました。この作文コンテストは、来年10回目の節目を迎えます。東京五輪が開催される2020年は本学の開学90周年にあたります。私たちの想像を超えるような、さらに個性的でスケールの大きな夢について書かれた作品がたくさん届くことを心から期待しています。

選考委員長 九州国際大学 学長 西川 京子





最優秀学校賞

熊本県／尚綱高等学校

優秀学校賞

福岡県／博多高等学校

鹿児島県／樟南高等学校

学校賞 (順不同)

【山口県】 宇部フロンティア大学付属香川高等学校

田部高等学校 長府高等学校 野田学園高等学校

萩光塩学院高等学校 早稲高等学校

山口県鴻城高等学校 山口県桜ヶ丘高等学校

【福岡県】 折尾愛真高等学校

九州国際大学付属高等学校 鞍手高等学校

小倉南高等学校全日制 小倉南高等学校定時制

つくば開成福岡高等学校 中村学園女子高等学校

福岡海星女子学院高等学校 福岡大学附属若葉高等学校

福岡常葉高等学校 門司大翔館高等学校 慶成高等学校

大和青藍高等学校 八女学院高等学校 八幡中央高等学校

【佐賀県】 伊万里高等学校 佐賀東高等学校

佐賀清和高等学校 白石高等学校 龍谷高等学校

【長崎県】 壱岐高等学校 対馬高等学校 平戸高等学校

【大分県】 大分鶴崎高等学校 大分西高等学校

大分南高等学校 日本文理大学附属高等学校

東九州龍谷高等学校

【熊本県】 高森高等学校 ルーテル学院高等学校

【宮崎県】 小林西高等学校 日南学園高等学校

日向高等学校 宮崎農業高等学校

【鹿児島県】 大島高等学校 曾於高等学校

【沖縄県】 宜野座高等学校 具志川高等学校

名護高等学校

全入選者はホームページに掲載中！

九国大 ドリーム100

検索

FBS福岡放送賞

谷本 昂駿さん

(福岡県／博多高等学校3年)

直接のきっかけは、昨年水害に遭った東峰村へのホームステイだった。住民1人1人のために密接に関わっている職員の姿を見て、自分の力を地域の方の為に貢献することを使うと決めた。地方公務員になる。私の夢だ。



住民と一緒に汗を流しながら働く村職員の方の姿に感動し、僕も困っている人に寄り添い、支えられるような公務員になりたいと思いました。そのためにも、もっと学びを深めたい。コンテストに挑戦し、受賞したことで、大学に進学する目的がはっきりしてきました。

選考委員会特別賞

伊藤 尚希さん

(福岡県／九州国際大学付属高等学校2年)

気がついたら大舞台の中の一員になっていた。幼少期から憧れていた、男の血が滾る祭典、戸畑祇園大山笠に。私の夢は去年叶えることができた。では、次の夢は何にしよう。そうだ、この宝を何百年先までも伝承しよう。



幼い頃から愛してやまないふるさとの祭、戸畑祇園山笠について書こう。ところが、祭への愛が強すぎて、書きたいことが多すぎる！要約にずいぶん時間を費やしましたが、戸畑祇園山笠に対するありのままの想いを、短いセンテンスで簡潔にまとめられたと思っています。

Dream大賞

内田 峻介さん

(山口県／山口南総合支援学校高等部1年)

僕に注目してほしい。パラリンピックに出場するからだ。種目はボッチャ。狙いを定めて、白い目標球に近づける。相手のボールは弾き飛ばす！燃える心と冷静な頭脳で一球入魂！！相手を打ち破る。2020、僕は輝く。



印象に残る書き出しとボッチャのルールや面白さを少ない字数でまとめるのに苦労しましたが、バラスポーツ、とくにボッチャというスポーツについて広くみんなに知ってもらい、応援してほしい。そして必ず2020年のパラリンピックに出場する。そんな願いを込めて書き上げました。

読売新聞西部本社賞

矢野 莉華子さん

(福岡県／九州国際大学付属高等学校2年)

気が付くと自分が森の中にいるようになった。文章で表された朝露が残る静謐な森。その世界に本を開く度に行けたのだ。私はその世界に恋をした。その瞬間から私は、そんな世界を創造する者になりました。いと夢見ている。



一冊の本に出会い、その本が持つ素晴らしい世界観にすっかり引き込まれてしまいました。私もこんな本が書ける小説家になりたい。今まで誰にも話したことのない思いを文章にすることは少し恥ずかしく、勇気が必要でしたが、将来の夢が明確になったと感じています。

■主催／九州国際大学 ■共催／読売新聞西部本社 ■後援／北九州市、FBS福岡放送

■選考委員長 九州国際大学 学長 西川 京子

■選考委員

北九州市立文学館 館長 今川 英子氏

北九州商工会議所専務理事

羽田野 隆士氏

FBS福岡放送 取締役

飯田 政之氏

読売新聞西部本社 編集委員

岩永 芳人氏

課題解決型学習を、より実践的に進化させた授業 「プラン&プラクティス(P&P)」がスタート！



2017年4月、現代ビジネス学部が開設されました。それにともなう新たな取り組みとして「プラン&プラクティス(P&P)」がスタートしました。これは、従来のゼミで行われてきたグループワークのひとつである課題解決型学習(PBL, Project-Based Learning)を「P&PI ~ IV」という授業として独立させたものです。北九州地域や大学周辺地域が抱える課題を発見し、学生自身でその解決策を提案、実行するという、より実践的な授業であるという点が「P&P」の特徴です。

2017年の秋学期に開講された「P&P I」は70名近くの1年生が受講しました。いきなり課題を解決する策を提案し、実践することは難しいため、「P&P I」では主に計画(プラン)をどのように立てるのかについて学習しました。具体的には、PDCAサイクルや強み・弱みを分析する方法、チームビルディングやアイデア出しのトレーニング、そしてファシリテーションの実践などを学習しました。こののち、1チーム4～5名のグループに分かれ、八幡駅前のイルミネーション点灯式に参加するためのイルミネーションのデザインを計画。実際にイルミネーションの取り付けを行ったり、大学周辺の空き店舗を有効に活用するための案を計画したりと実践的な内容へと進んでいきました。多くの学生がアイデアを出し、仲間と協働してよりよい計画が立てられるよう真剣に取り組んでくれました。

P&PII以降では、自分たちが計画したプランを実行し、さらにそれを継続させていくにはどのようにすれば良いかということ、プロジェクトに取り組みながら学んでいく予定です。

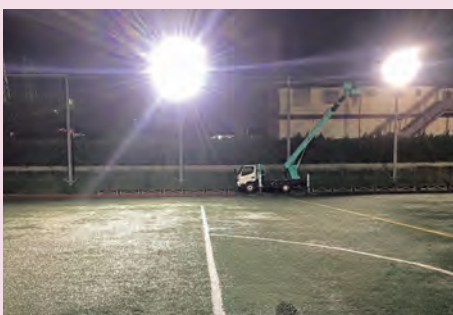


全校舎の照明器具をLEDに更新完了！

本法人が設置する大学、付属高校及び付属中学には、蛍光灯器具が1,143台(20W含む)、蛍光灯1,994本(20W含む)、ダウンライト86台があります。蛍光灯器具の耐用年数は10年～12年といわれていますが、平成29年度時点で、設置してから17年目となっていました。その間、不具合が発生した照明器具は部品交換等を行ってききましたが、大量の照明器具が3年以内に故障し、部品の供給ができなくなることが予測されました。

あわせて、政府による「新成長戦略」「エネルギー基本計画」や一般社団法人日本照明工業会の「照明成長戦略2020」の目標に基き、蛍光灯の製造量は減少の一途をたどり、将来、蛍光灯の交換ができなくなる可能性も考えられました。

そこで、本法人は平成29年度、全キャンパス・全校舎の照明のLED化を更新完了しました。その際のLEDメーカーの比較の一部をご紹介します。



メーカー	省エネ率	CO2削減率	耐用年数／耐用時間
A社	66%	25,138	約16年／4万時間
B社	66%	25,138	約16年／4万時間
C社	63%	25,138	約16年／4万時間

LED照明器具への更新をメーカー別で調査比較した結果、省エネ率、CO2削減率、耐用年数、品質、保証に大きな差がないこと、さらに、照明をLEDに更新する事により、ランニングコストは約60%削減可能であることがわかりました。

LED照明への更新は、教室内の蛍光灯のほか、体育館の水銀灯やグラウンドのナイター照明も実施。必要な箇所には人感センサーも設置しました。

Close-up!
Student

放送部3年生

村松 万里子さん

村松万里子さん(中間東中出身)は、平成29年度高文祭放送コンテスト福岡県大会アナウンスの部において、見事優勝を勝ち取りました。第39回九州高校放送コンテストや、第42回全国高等学校総合文化祭長野大会にも福岡県代表として出場するほどの実力者! 付属高校野球部の試合時の球場アナウンスやオープンスクールの司会を担当するなど、さまざまな場面で活躍しています。



今年は45期生16名が参加。 姉妹校、培花女子高校との国際交流

付属高校には海外に姉妹校提携している学校があります。その中のひとつが韓国の名門高校、培花女子高等学校です。交流がスタートして45年目という節目の年を迎える今年、1年生、2年生から8名ずつ、計16名の九国生が韓国研修に参加しました。現地では盛大にもてなしていただき、生徒たちは言葉の壁を超えて、積極的にコミュニケーションを取り合っていました。冬には、培花女子校のみなさんが本校に來校する予定となっています。培花女子校の呉世勲(オ・セフン)校長先生は、本校の生徒と直接日本語で対話をするために、現在、熱心に日本語を勉強されているそうです。歴史上の認識の違いなど、日韓はさまざまな課題を抱えていますが、過去から多くを学び、未来に向かって歩みを進めるために今後も活発な交流を重ねていきたいと考えています。



Junior High School

第69回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会の決勝で第3位に!

Close-up!
Student

平成29年11月24日(金)、東京有楽町のよみうりホールにて行われた高円宮杯全日本中学校弁論大会に、ESS部の溝部和貴さんが出場し、全国3位という素晴らしい成績を修めました。

高円宮杯は、1949年から続く歴史と伝統ある英語弁論大会です。制限時間5分、論題は自由(生徒自身の意見・主張を英語でまとめたもの)となっており、そのレベルは中学生の大会としては最高峰といえます。暗唱ではなく弁論であるため、生徒自身にどれだけ聴衆に訴えたいことがあるかということが重要で、審査基準の観点(内容、英語力、表現)の中でも、とくに内容が重視されるとされています。

溝部さんは10月に行われた福岡県大会で優勝し、県代表として全国大会に出場しました。自分自身の経験からくる強い思いを聴いてくれる方々へ届けようと、一生懸命に取り組む、その努力を惜しまない姿勢や、練習の過程で自身の考えをより深めながら成長していく様子は、多くの人々に勇気や力を与えるものであったと思います。

今年の夏には、副賞の1つ(三菱商事賞)として、イギリスにあるブランプトン大学での英語研修に参加しました。さまざまな国々から来たクラスメイトたちと英語を通じてコミュニケーションをとる中で、どう伝えれば自分の言いたいことを理解してもらえるかを考えながら話すことが、とても勉強になったとのことでした。

ESS部3年生

溝部 和貴さん



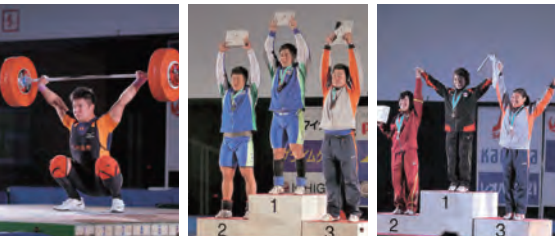
University

平成30年度 全国大会出場サークル

◎ウエイトリフティング部

第64回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会
第30回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会
大会期間：4月27日～4月29日
場所：大阪府羽曳野はびきのコロシアム

結果(男子)
77kg級 江角颯 S:120 C&J:158 T:278 **3位**
富永聖也 S:121 C&J:161 T:282 **2位**
85kg級 山口洋文 S:144 C&J:166 T:310 **2位**
105kg級 岩崎貴之 S:156 C&J:187 T:343 **1位**
+105kg級 松本経丸 S:135 C&J:186 T:321 **2位**
結果(女子)
69kg級 川添千織 S:74 C&J:100 T:174 **3位**
75kg級 阿部菜 S:78 C&J:93 T:171 **4位**



第78回全日本学生ウエイトリフティング選手権大会
第32回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会
大会期間：5月25日～5月27日
場所：いしかわ総合スポーツセンター

結果(男子)
105kg級 岩崎貴之 S:165 C&J:175 T:340 **3位**
松本経丸 S:138 C&J:187 T:325 **5位**

◎バドミントン部

第67回九州学生バドミントン選手権大会
大会期間：6月21日～27日
場所：久留米アリーナ

団体 **準優勝**
個人シングルス 武生卓也 **優勝**
ダブルス 尾崎公哉、濱崎駿 **優勝**
武生卓也、中山麻風 **準優勝**

以上、全国大会出場決定
第69回全日本学生バドミントン選手権大会
大会期間：10月12日～18日
場所：京都市、長岡京市、向日市



High School

◎バドミントン部

全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会
8月4日(土)～8月9日(木)
団体戦 女子ベスト8 男子ベスト16
ダブルス男子 ベスト8 石橋陸(3年)、吉松基(2年)
2回戦 阿久根直輝(3年)、肥田木武(3年)
ダブルス女子 ベスト16 小西春七(3年)、田島珠姫(2年)
シングルス男子ベスト8 石橋陸(3年)
ベスト32 阿久根直輝(3年)
シングルス女子ベスト16 小西春七(3年)



◎ウエイトリフティング部

第20回全国高等学校女子ウエイトリフティング
競技選手権大会
7月14日(土)～16日(月)
53kg級出場 山下瑛(3年)
平成30年度全国高等学校総合体育大会
ウエイトリフティング競技大会
8月2日(木)～6日(月)
85kg級出場 木戸隆介(3年)
105kg級出場 廣渡武(3年)



◎体操部

平成30年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会
8月3日(金)～6日(月)
個人出場 井上歩夢(3年)



◎陸上部

平成30年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会
男子
5000W予選 2位 阿座上(3年) 決勝進出
5000W決勝 失格 阿座上
3000Sc予選 8位 田中(2年)
女子
100m予選 5位 原田(3年)
4×100mR 5位 田中(2年)、光澤(3年)
予選 山崎(1年)、原田(3年)



Junior High School

女子バドミントン部全国大会出場!!

日頃から、“全国優勝”を目標に汗を流してきました。女子団体は、市内大会、県大会共に優勝し、九州大会でも優勝という好成績を収め、九州大会4連覇を果たしました。8月18日から山口県で行われた全国大会に出場しました。目標であった全国優勝は成し遂げることはできませんでしたが、全国という舞台で、選手は緊張と闘いながらも全力でプレーしました。個人でも、シングルス、ダブルス共に全国大会に駒を進め、全力で戦いました。男子バドミントン部は、おしくも全国大会出場は逃したものの、個人シングルスで九州大会に出場し、一生懸命頑張りました。大会では出場する選手だけでなく、部員はサポートや応援にチーム一丸となり頑張りました。来年はこの経験と悔しさをバネに精神面、体力面とさらに鍛え上げ、悲願の“全国優勝”を勝ち取ってくれることでしょう。

<第46回 九州中学校バドミントン大会>8月5日～7日

女子団体 **優勝**

下崎美桜(3年)、川床美都希(3年)、室屋奏乃(2年)、濱口桃子(2年)、山口ひかり(2年)、宮城那菜(1年)、藤本夏綺(1年)

女子ダブルス **優勝**

下崎美桜(3年)、川床美都希(3年)

女子シングルス **準優勝**

室屋奏乃(2年)

男子シングルス ベスト16

水口稜太郎(3年)

<第46回 全国中学校バドミントン大会>8月18日～21日

女子団体出場 ベスト8

下崎美桜(3年)、川床美都希(3年)、室屋奏乃(2年)、濱口桃子(2年)、山口ひかり(2年)、宮城那菜(1年)、藤本夏綺(1年)

女子ダブルス出場 ベスト16

下崎美桜(3年)、川床美都希(3年)

女子シングルス出場

室屋奏乃(2年)



の 人 扉 生

本や音楽、恩師など、
先生の人生の転機となった出会いを
教えていただきました。

第7話



米原 万里 『不実な美女か 貞淑な醜女か』

ハードカバー版(徳間書店)1994年 文庫版(新潮社)1998年
ハードカバー版は大学図書館に所蔵があります。



九州国際大学 現代ビジネス学部 助教

橋本 愛

担当科目は中国語及び海外語学実習。専門は中国語学、中国語教育。現在、大学外でも北九州市民カレッジで中国語講座を担当している。

中国語への興味の扉を開き、
言葉に真摯に向き合う姿勢を
教えてくれた私のバイブル。

高校生の頃、英語が大好きでした。そんな私に先生が薦めてくださったのがこの本です。著者の米原万里さんは元ロシア語同時通訳者で、語られるエピソードの多くはロシア語のもの。英語以外の外国語に触れたことのない私には、とても新鮮でした。また、英語以外のもう一つの外国語を学ぶ必要性を説く米原さんに刺激され、大学では中国語を専攻することに。私の外国語への情熱は、どんな中国語に注がれていきました。

大学時代、中国語に伸び悩みを感じていた頃、本書をもう一度読み直していると目に入ったのが「外国語の力は母語の能力に左右される」という一文でした。外国語を学んでいると、学習対象言語しか見えなくなることがよくありますが、母語に目を向ける大切さに気づかせてくれたのも米原さんでした。中国語の前に日本語から鍛え直さなければと青ざめたのを覚えています。

本書は通訳・翻訳に関して多くのページが割かれ、米原さん自身の経験や通訳者の苦悩などが惜しげもなく披露されており、今でも折に触れ読んでいます。通訳ではないものの、外国語に携わる者として訳からは逃げられぬ身。日本語らしい表現、中国語らしい表現に出会う度どう訳せば伝わるかと、日々頭を悩ませています。二つの言語にまたがる幅広い知識を持ち、言葉に真摯に向き合う米原さんのご著書は、私にとって手放せないバイブルです。

寄附金のお願い

現在、学校法人九州国際大学では、「教育研究用施設設備の拡充」と「教育環境整備」を目的に寄附金の募集を行っております。具体的には、ICT教育環境整備事業、基幹ネットワーク機器更新などに順次充当しております。

つきましては、寄附金の趣旨にご賛同いただき、皆様方の温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(寄附金目標額1億円、平成35年(2023年)3月31日まで)

なお、寄附金募集に関する問い合わせや手続確認、振込用紙請求等につきましては、下記までご連絡ください。

連絡先

〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号 学校法人九州国際大学 法人事務局寄附金担当
TEL093-671-8900 FAX093-671-9032 E-mail kifu@kiu.ac.jp
本学HPの寄附金情報 <http://www.kiu.ac.jp/about/kifu/>

学校法人 九州国際大学 平成29年度 決算状況

平成25年4月22日に文部科学省令第15号「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました（平成27年度決算より適用）。このうち、当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」及び臨時的な収支となる「特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするとともに、当該年度の基本金組入額を控除した収支の均衡を明らかにするものです。

新会計基準に基づく平成29年度事業活動収支決算（旧会計基準の消費収支決算）は、基本金組入前当年度収支差額（旧会計基準の帰属収支差額）が1億9,196万円の支出超過となりました。また、当年度収支差額（旧会計基準の消費収支差額）は、3億9,263万円の支出超過となっています。

「教育活動収支」における収入は36億7,875万円、支出は38億8,869万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、2億994万円の支出超過となっています。

「教育活動外収支」における収入は447万円、支出は623万円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、176万円の支出超過となっています。

「特別収支」における収入は2,889万円、支出は915万円となり、当該区分における特別収支差額は1,974万円の収入超過となっています。

これらを総じて、事業活動収入は37億1,211万円となり、事業活動支出は39億407万円となっています。

なお、平成30年3月末現在の次年度繰越支払資金等（有価証券2億円含む）は、27億8,159万円で、前年度末より1億5,015万円減少しました。「退職給与引当特定資産」は、9億7,879万円で、学校法人会計基準に基づき、当期末退職給与引当金計上額の100%を積み立てた金額となっております。「減価償却引当特定資産」は、14億1,425万円となり、前年度末と同様に推移しています。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して1億4,646万円減少しています。

※ 単位万円以下は四捨五入して表記

事業活動収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで) (単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
● 教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	2,474,588	2,474,530	58
		手数料	72,322	72,943	△ 621
		寄付金	7,000	7,500	△ 500
		経常費等補助金	903,843	888,791	15,052
		付随事業収入	52,655	53,862	△ 1,207
	支出	雑収入	180,840	181,127	△ 287
		教育活動収入計	3,691,248	3,678,753	12,495
		科 目	予 算	決 算	差 異
		人件費	2,207,977	2,207,682	295
		教育研究経費	1,364,330	1,331,086	33,244
● 教育活動外収支	収入	管理経費	368,777	349,271	19,506
		徴収不能額等	650	650	0
		教育活動支出計	3,941,734	3,888,689	53,045
		教育活動収支差額	△ 250,486	△ 209,936	△ 40,550
	支出	科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	4,100	4,472	△ 372
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	4,100	4,472	△ 372
	支出	科 目	予 算	決 算	差 異
		借入金等利息	6,235	6,234	1
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	6,235	6,234	1
		教育活動外収支差額	△ 2,135	△ 1,762	△ 373
● 特別収支	収入	経常収支差額	△ 252,621	△ 211,698	△ 40,923
	支出	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	8,000	28,886	△ 20,886
		特別収入計	8,000	28,886	△ 20,886
	支出	科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	4,095	9,150	△ 5,055
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	4,095	9,150	△ 5,055
		特別収支差額	3,905	19,736	△ 15,831
● 基本金組入前当年度収支差額	収入	〔予備費〕	8,310	8,310	0
	支出	基本金組入前当年度収支差額	△ 257,026	△ 191,962	△ 65,064
	合計	基本金組入額合計	△ 209,324	△ 200,665	△ 8,659
	差額	当年度収支差額	△ 466,350	△ 392,627	△ 73,723
	繰越	前年度繰越収支差額	△ 5,664,961	△ 5,664,961	0
	繰越	基本金取崩額	0	456	△ 456
	繰越	翌年度繰越収支差額	△ 6,131,311	△ 6,057,132	△ 74,179
	繰越	（参考）			
	繰越	事業活動収入計	3,703,348	3,712,111	△ 8,763
	繰越	事業活動支出計	3,960,374	3,904,073	56,301

【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

【事業活動収入】
学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。
その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

【事業活動支出】
人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりませんが、引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出になります。

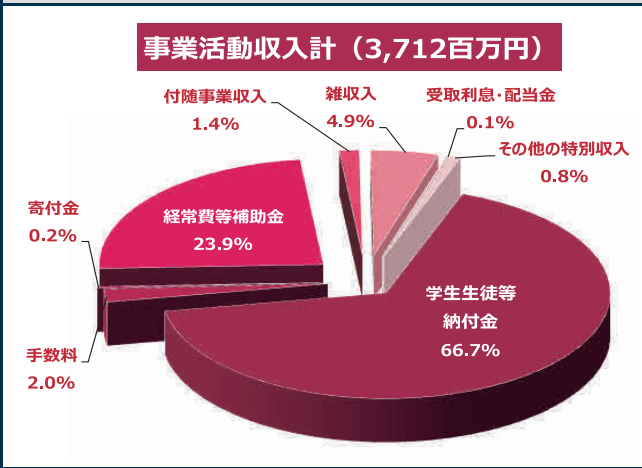
【資産売却差額・資産処分差額】
不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価額を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売価が資産の帳簿価額を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

【徴収不能額】
得るべき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。
なお、本来得るべき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

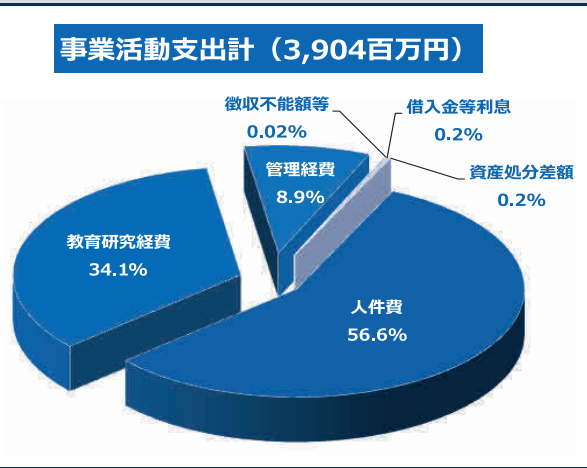
【基本金組入額】
学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部・学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき金銭として別に文部科学大臣の定める額。

事業活動収入に対する各費目の占める割合



事業活動支出に対する各費目の占める割合



資金収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

翌年度に入学者の学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。	収入の部		予 算	決 算	差 異
	学生生徒等納付金収入	2,474,588	2,474,530	58	
	手数料収入	72,322	72,943	△ 621	
	寄付金収入	15,000	17,669	△ 2,669	
	補助金収入	903,843	903,614	229	
	資産売却収入	0	0	0	
	付随事業・収益事業収入	52,655	53,862	△ 1,207	
	受取利息・配当金収入	4,100	4,472	△ 372	
	雑収入	178,103	178,390	△ 287	
	借入金等収入	0	0	0	
長期・短期の貸付金の回収額。特定の目的のために積立てた預金（退職、減価償却）等を取り崩した額など。	前受金収入	415,840	461,799	△ 45,959	
	● その他の収入	110,844	142,789	△ 31,945	
	● 資金収入調整勘定	△ 572,715	△ 594,265	21,550	
	前年度繰越支払資金	2,731,735	2,731,735	0	
	収入の部合計	6,386,315	6,447,538	△ 61,223	
収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。	支出の部		予 算	決 算	差 異
	人件費支出	2,204,755	2,204,461	294	
	教育研究経費支出	1,113,340	1,082,592	30,748	
	管理経費支出	337,501	318,983	18,518	
	借入金等利息支出	6,235	6,234	1	
	借入金等返済支出	105,540	105,540	0	
	● 施設関係支出	68,018	68,016	2	
	● 設備関係支出	66,450	62,033	4,417	
	資産運用支出	3,688	3,690	△ 2	
	その他の支出	35,100	53,164	△ 18,064	
土地、建物、構築物等取得するための支出。	〔予備費〕	4,100		4,100	
	● 資金支出調整勘定	△ 23,812	△ 38,765	14,953	
	次年度繰越支払資金	2,465,400	2,581,590	△ 116,190	
	支出の部合計	6,386,315	6,447,538	△ 61,223	
	支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払いとして前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整すること。				

【語句説明】資金収支計算書にのみ表れる主な科目

【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます（新入生の入学金・授業料等）。

【資金調整勘定（資金収入調整勘定、資金支出調整勘定）】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。
資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

【語句説明】資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。
具体的には、入学校定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含みます。

【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

活動区分資金収支計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

	科 目		金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,474,530
		手数料収入	72,943
		特別寄付金収入	7,500
		経常費等補助金収入	888,791
		付随事業収入	53,862
	支出	雑収入	178,390
		教育活動資金収入計	3,676,016
		人件費支出	2,204,461
		教育研究経費支出	1,082,592
		管理経費支出	318,983
施設整備等活動による資金収支	収入	教育活動資金支出計	3,606,036
		差引	69,980
		調整勘定等	△ 17,143
		教育活動資金収支差額	52,837
	支出	施設設備寄付金収入	10,169
		施設設備補助金収入	14,823
		施設整備等活動資金収入計	24,992
		施設関係支出	68,016
		設備関係支出	62,033
その他の活動による資金収支	収入	減価償却引当特定資産繰入支出	1
		施設整備等活動資金支出計	130,050
		差引	△ 105,058
		調整勘定等	△ 14,771
		施設整備等活動資金収支差額	△ 119,829
	支出	小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額）	△ 66,992
		修学・研修旅行費預り資産取崩収入	17,242
		短期貸付回収収入	937
		預り金受入収入	19,886
		仮払金回収収入	8,084
その他の活動による資金収支	収入	小計	46,149
		受取利息・配当金収入	4,472
		その他の活動資金収入計	50,621
	支出	借入金等返済支出	105,540
		退職給与引当特定資産繰入支出	3,689
		貸付金支払支出	1,454
		修学・研修旅行費預り金支払支出	17,239
		小計	127,922
	支出	借入金等利息支出	6,234
		その他の活動資金支出計	134,156
		差引	△ 83,534
		調整勘定等	382
		その他の活動資金収支差額	△ 83,152
その他の活動による資金収支	支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）		△ 150,144
	前年度繰越支払資金		2,731,734
	翌年度繰越支払資金		2,581,590

学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、自ら調達した資金の他に国または地方公共団体から経常費の補助を受けています。

国または地方公共団体から経常費補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより、「学校法人会計基準」という会計ルールに則った会計処理および計算書類の作成をし、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

平成25年4月22日に文部科学省令第15号にて、新たな「学校法人会計基準」が公布され、平成27年4月1日に施行されました（平成27年度決算より適用）。当該年度の経常的な収支をあらわす計算書は、消費収支計算書から事業活動収支計算書に移行されました。この事業活動収支計算書は、「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの区分で構成され、各区分の収支を明らかにするものです。

計算書類について

（1）資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって、当該年度の収入と支出の内容を明らかにし、支払資金（現金及び預貯金）の期末を表すものです。

※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分で表示し、経営判断に資する財務情報を提供するものです。
活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度（様式）ではないため、予算書の作成は求められていません。

（2）事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。

計算書の構造は、本業である教育・研究活動（教育活動収支）と財務活動で生じる利息等（教育活動外収支）、資産売却等の臨時的収支（特別収支）に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

（3）貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産（基本金及び収支差額）の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

資産の部				負債の部			
科目	H29	H28	増減	科目	H29	H28	増減
固定資産	16,675,558	16,825,873	△ 150,315	固定負債	1,062,097	1,647,152	△ 585,055
●有形固定資産	14,029,621	14,183,695	△ 154,074	長期借入金	83,310	668,850	△ 585,540
●土地	5,270,389	5,270,389	0	退職給与引当金	978,787	978,302	485
●建物	6,086,114	6,240,385	△ 154,271	流動負債	1,276,293	783,083	493,210
●構築物	466,483	479,790	△ 13,307	短期借入金	585,540	105,540	480,000
●教育研究用機器備品	331,470	332,678	△ 1,208	短期未払金	35,828	30,965	4,863
●管理用機器備品	41,955	32,828	9,127	前受金	461,799	456,099	5,700
●図書	1,822,602	1,815,486	7,116	修学・研修旅行費預り金	62,250	79,489	△ 17,239
●車両	10,608	12,139	△ 1,531	預り金	130,876	110,990	19,886
特定資産	2,393,039	2,389,349	3,690	負債の部合計	2,338,390	2,430,235	△ 91,845
●退職給与引当特定資産	978,787	975,098	3,689	純資産の部			
●減価償却引当特定資産	1,414,252	1,414,251	1	科目	H29	H28	増減
その他の固定資産	252,898	252,829	69	基本金	23,184,801	22,984,592	200,209
●電話加入権	3,202	3,202	0	第1号基本金	22,913,801	22,713,592	200,209
●敷金	14,640	14,640	0	第4号基本金	271,000	271,000	0
●有価証券	200,000	200,000	0	繰越収支差額	△ 6,057,131	△ 5,664,961	△ 392,170
●長期貸付金	241	172	69	翌年度繰越収支差額	△ 6,057,131	△ 5,664,961	△ 392,170
●預託金	34,815	34,815	0	純資産の部合計	17,127,670	17,319,631	△ 191,961
流動資産	2,790,503	2,923,994	△ 133,491	負債及び純資産の部合計	19,466,060	19,749,866	△ 283,806
●現金預金	2,581,590	2,731,735	△ 150,145				
●未収入金	138,679	97,593	41,086				
●貯蔵品	158	72	86				
●短期貸付金	904	666	238				
●修学・研修旅行費預り資産	61,951	79,192	△ 17,241				
●前払金	3,506	2,937	569				
●仮払金	3,715	11,799	△ 8,084				
資産の部合計	19,466,061	19,749,867	△ 283,806				

【有価証券】

国債・地方債・社債・金融債・株式などがあり、会計年度末後1年を超えて保有する目的のものは「その他の固定資産」に計上します。一時的（短期的）な保有を目的とするものは、「流動資産」に計上します。

【現金預金】

現金、銀行の各種預金、郵便貯金などです。「現金預金」の額は、資金収支計算書の「次年度繰越支払資金」と一致します。

【借入金】

長期借入金は、返済期限が年度末後1年を超えて到来する借入金で「固定負債」に計上します。短期借入金は、返済期限が年度末後1年以内に到来する借入金で「流動負債」に計上します。

【預り金】

給料・報酬などにかかる源泉所得税、住民税など学校法人の事業活動収入にならない、他に支払うための一時的な金銭の受入額をいいます。

【繰越収支差額】

当期以前の各年度の事業活動収入から事業活動支出を差し引いた差額の累計額です。

【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

【○○○引当特定資産】

施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

事業活動収支計算書（経年比較）

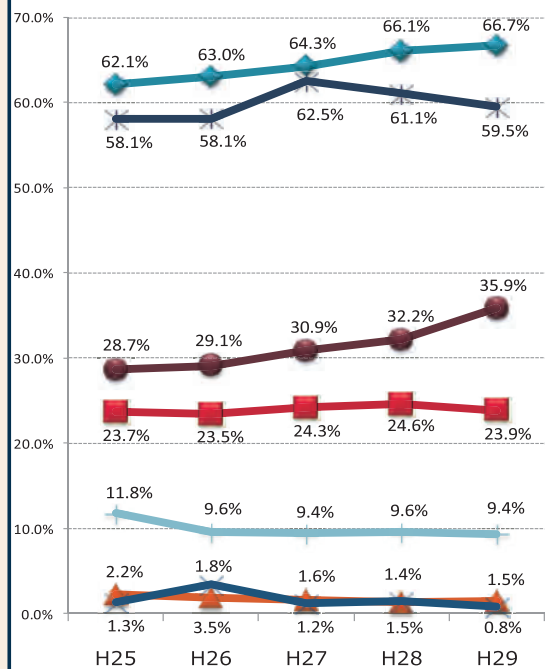
科目	H25	H26	H27	H28	H29
収入					
学生生徒等納付金	2,484,090	2,403,123	2,323,418	2,387,782	2,474,530
手数料	72,181	72,384	72,861	77,151	72,943
寄付金	0	0	0	10,000	7,500
経常費等補助金	948,652	894,604	876,486	888,721	888,791
付随事業収入	89,709	70,102	58,503	51,395	53,862
雑収入	293,888	153,127	193,348	135,956	181,127
教育活動収入計	3,888,520	3,593,340	3,524,616	3,551,005	3,678,753
支出					
人件費	2,323,553	2,216,725	2,258,650	2,205,963	2,207,682
教育研究経費	1,147,901	1,110,517	1,116,463	1,162,243	1,331,086
管理経費	471,222	365,943	340,285	345,409	349,271
徴収不能額等	0	0	0	0	650
教育活動支出計	3,942,676	3,693,185	3,715,398	3,713,615	3,888,689
教育活動収支差額	△ 54,156	△ 99,845	△ 190,782	△ 162,610	△ 209,936
収入					
受取利息・配当金	29,224	34,012	15,764	6,464	4,472
その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
教育活動外収入計	29,224	34,012	15,764	6,464	4,472
支出					
借入金等利息	9,837	8,577	8,893	7,568	6,234
徴収不能額等	0	294	294	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
教育活動外支出計	9,837	8,871	9,187	7,568	6,234
教育活動外収支差額	19,387	25,141	6,577	△ 1,104	△ 1,762
経常収支差額	△ 34,769	△ 74,704	△ 184,205	△ 163,714	△ 211,698
収入					
資産売却差額	27,075	52,590	31,410	0	0
その他の特別収入	53,856	132,530	42,332	55,583	28,886
特別収入計	80,931	185,120	73,742	55,583	28,886
支出					
資産処分差額	275,678	5,645	5,474	7,308	9,150
その他の特別支出	0	0	0	0	0
特別支出計	275,678	5,645	5,474	7,308	9,150
特別収支差額	△ 194,747	179,475	68,268	48,275	19,736
基本金組入前当年度収支差額	△ 229,516	104,771	△ 115,937	△ 115,439	△ 191,962
基本金組入額合計	△ 66,156	△ 353,504	△ 559,025	△ 133,575	△ 200,665
当年度収支差額	△ 295,672	△ 248,733	△ 674,962	△ 249,014	△ 392,627
前年度繰越収支差額	△ 5,151,172	△ 5,251,818	△ 5,479,359	△ 5,542,607	△ 5,664,961
基本金取崩額	195,026	21,193	611,714	126,660	456
翌年度繰越収支差額	△ 5,251,818	△ 5,479,358	△ 5,542,607	△ 5,664,961	△ 6,057,132

(参考)

事業活動収入計	3,998,675	3,812,472	3,614,122	3,613,052	3,712,111
事業活動支出計	4,228,191	3,707,701	3,730,059	3,728,491	3,904,073

(注) 平成26年度以前の数値については、旧会計基準を新会計基準に読替えて表示しています。

事業活動収入に対する主な科目の比率（経年比較）



貸借対照表関係財務比率（旧会計基準）

No.	比 率	算 式	H25	H26	評価
1	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	85.2%	85.3%	▼
2	流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.8%	14.7%	△
3	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資金}}$	9.8%	9.2%	▼
4	流動負債 構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総資金}}$	3.2%	3.2%	▼
5	自己資金 構成比率	$\frac{\text{自己資金}}{\text{総資金}}$	87.0%	87.6%	△
6	消費収支差額 構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総資金}}$	△ 26.2%	△ 27.3%	△
7	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金}}$	97.8%	97.4%	▼
8	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	88.0%	88.2%	▼
9	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	465.8%	453.1%	△
10	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	13.0%	12.4%	▼
11	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{自己資金}}$	14.9%	14.2%	▼
12	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	683.3%	759.5%	△

消費収支計算書関係財務比率（旧会計基準）

No.	比 率	算 式	H25	H26	評価
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{帰属収入}}$	58.1%	58.1%	▼
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	93.5%	92.2%	▼
3	教育研究 経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{帰属収入}}$	28.7%	29.1%	△
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{帰属収入}}$	11.8%	9.6%	▼
5	借入金等 利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{帰属収入}}$	0.2%	0.2%	▼
6	消費支出比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{帰属収入}}$	105.7%	97.3%	▼
7	消費収支比率	$\frac{\text{消費支出}}{\text{消費収入}}$	107.5%	107.2%	▼
8	学生生徒等 納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{帰属収入}}$	62.1%	63.0%	—
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{帰属収入}}$	0.3%	0.6%	△
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{帰属収入}}$	24.7%	26.4%	△
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{帰属収入}}$	1.7%	9.3%	△
12	減価償却費 比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{消費支出}}$	10.0%	9.8%	—

(注) ① 財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえませんが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

[△：高い値が良い ▼：低い値が良い —：どちらともいえない]
(私学事業団：今日の私学財政 参照)

② 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- 総資金 = 負債 + 基本金 + 消費収支差額
- 自己資金 = 基本金 + 消費収支差額
- 運用資産 = その他の固定資産 + 流動資産

(注) 学校法人会計基準改正に対応した新たな財務比率等について

学校法人会計基準改正に伴い、財務比率も新基準に対応したものに變更されております。
貸借対照表関係比率及び事業活動収支計算書関係比率の名称変更や算出方法の變更に加え、新たに活動区分資金収支計算書関係比率が設けられました。

企業会計と学校法人会計の違い

企業会計では、会計によって収益と費用を正しくとらえて営業年度の正しい損益を計算し、併せて企業の財政状態、すなわち資産・負債及び資本の状態を知ることによって、より収益力を高め財政的安全性を図ることを目的としています。

一方、学校法人は、教育研究活動により社会に有為な人材を育成することを目的とし、その収入の多くは学生生徒等の納付金や国・地方公共団体からの補助金で構成されている極めて公共性の高い公益法人であり、企業のように収益の獲得を目的とすることはできません。したがって、学校法人の会計には、損益の計算という目的はなく、また、一般の企業に比べてより一層の永続性が望めます。

以上のことから、学校法人会計の目的は、収支の均衡の状況と財政の状態を正しくとらえ、法人の永続的發展に役立てようとすることにあり、その目的を達成するため、計算書類等を作成することになっています。

貸借対照表関係財務比率（新会計基準）

No.	比 率	算 式	H27	H28	H29	評価
1	固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	85.8%	85.2%	85.7%	▼
2	有形固定資産 構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	72.6%	71.8%	72.1%	▼
3	特定資産 構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	11.9%	12.1%	12.3%	△
4	流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	14.2%	14.8%	14.3%	△
5	固定負債 構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$	8.7%	8.3%	5.5%	▼
6	流動負債 構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$	3.6%	4.0%	6.6%	▼
7	内部留保 資産比率	$\frac{\text{運用資産-総負債}}{\text{総資産}}$	72.8%	77.7%	72.8%	△
8	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産-外部負債}}{\text{経常支出}}$	113.6%	121.4%	114.8%	△
9	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	87.7%	87.7%	88.8%	△
10	繰越収支差額 構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$	△ 27.9%	△ 28.7%	△ 31.1%	△
11	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	97.9%	97.1%	97.4%	▼
12	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$	89.0%	88.7%	91.7%	▼
13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	392.2%	373.4%	218.6%	△
14	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	12.3%	12.3%	12.0%	▼
15	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	14.0%	14.0%	13.7%	▼
16	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	642.4%	598.9%	559.0%	△
17	退職給与引当 特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当金}}{\text{退職給与引当金+特定資産}}$	100.0%	99.7%	100.0%	△
18	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	96.8%	97.2%	97.7%	△
19	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}}$	54.8%	56.4%	57.6%	—
20	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	52.3%	52.3%	49.7%	△

事業活動収支計算書関係比率（新会計基準）

No.	比 率	算 式	H27	H28	H29	評価
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	63.8%	62.0%	59.9%	▼
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	97.2%	92.4%	89.2%	▼
3	教育研究 経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	31.5%	32.7%	36.1%	△
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	9.6%	9.7%	9.5%	▼
5	借入金等 利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.3%	0.2%	0.2%	▼
6	事業活動収支 差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	△ 3.2%	△ 3.2%	△ 5.2%	△
7	基本金組入後 収支比率	$\frac{\text{事業活動収入-基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	122.1%	107.2%	111.2%	▼
8	学生生徒等 納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	65.6%	67.1%	67.2%	—
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.4%	1.8%	0.6%	△
10	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.0%	0.3%	0.2%	△
11	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	25.1%	24.6%	24.3%	△
12	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	24.8%	25.0%	24.1%	△
13	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	15.5%	3.7%	5.4%	△
14	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	8.6%	7.8%	7.2%	—
15	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	△ 5.2%	△ 4.6%	△ 5.7%	△
16	教育活動収支 差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	△ 5.4%	△ 4.6%	△ 5.7%	△

(注) 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計
「経常支出」 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

活動区分資金収支計算書関係比率（新会計基準）

No.	比 率	算 式	H27	H28	H29	評価
1	教育活動資金 収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	3.3%	6.2%	1.4%	△

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等

学校法人 九州国際大学

■大学 法学部／法律学科 経済学部／経済学科・経営学科 国際関係学部／国際関係学科 現代ビジネス学部／地域経済学科・国際社会科学
■大学院 法学研究科・企業政策研究科
■付属高等学校 難関クラス／S特進クラス／特進クラス／準特進クラス／進学クラス／トッパスリーディングクラス
■付属中学校

University



全員に記念品プレゼント！

オープンキャンパス＜事前申込必要＞

平成30年10月8日(月・祝) 14:30～16:00

ズバリ解説！入試直前「推薦・AOのポイント」

・推薦入試&AO入試のポイントを解説します！

お申込みは／ TEL. 093-671-8916
FAX. 093-671-8995
Email. admission@kiu.ac.jp



盛り上がっていきこう！

大学祭「橘祭」

今年のテーマは「祭色兼美」

平成30年11月24日(土)・25日(日)



High School



入試ワンポイントアドバイスも実施！

オープンスクール

平成30年11月10日(土) 10:00～12:30

(12:30以降のプログラムは自由参加)

学校説明&保護者ガイダンス／ステージイベント
クラブ見学／ランチ体験／入試過去問題配布 など
無料送迎バス／ JR 枝光駅発 8:30 から 20分毎に運行

放課後のオープンスクール

平成30年11月16日(金) 18:00～19:30

学校見学&クラブ活動見学 など

お申込みは／ TEL. 093-671-8443
FAX. 093-671-9028
Email. 959h@kif.ed.jp



Junior High School



小学6年生および保護者対象

九国プレ2018 学校・入試説明会

平成30年10月21日(日) 9:50～11:50

無料送迎バス／ JR 枝光駅発 8:40, 9:00, 9:20

授業を見てみよう！

秋の学校見学ツアー

平成30年11月17日(土) 10:00～12:00

お申込みは／ TEL. 093-671-9001
FAX. 093-671-8998
Email. 959j@kif.ed.jp

